

RE-COVER BOARD



TKBS

株式
会社

東京興業貿易商会

**MONSEY
BAKOR**

地球環境にやさしいリカバー工法(湿潤下地対応型)

リカバード

1. 改修工事の防水層下地材
2. 湿潤下地の防水層下地材
3. 下地と防水層を絶縁する

リカバードは、高軟化点のアスファルトをガラスファイバー不織布に含浸コーティング補強された物であり、信頼性が高く、他に比較できるものではありません。

リカバードを使用した防水層は、耐衝撃性・貫入抵抗に優れ、通常の点検時の歩行やガレキ等の衝撃、また、雪・ツララの落下等に対しても何等問題がありません。

リカバードはアスファルト防水および改質アスファルト防水、または、断熱材、コンクリート等の、表層の滑らかな面に直接貼りつける事が出来ます。

リカバードの厚みは 3mm であり、機械固定の他、アスファルトおよびアスファルト系接着材またはトーチ等で、既存防水層に接着すると、下地との融合性に優れます。

通常の断熱材（ウレタンボードやファイバーボード）の場合、吸水率が高く、湿気を早く吸収してしまいます。このようなボードは水分を含むと腐食しやすくなりルーズな状態になってしまいます。

リカバードは湿気抵抗に優れ、水分吸収が低い為、寸法安定性に優れており、このような問題が発生しません。

リカバードを下地として使用することで、既存防水層および断熱材等を撤去する必要が無く、効果的に工期の短縮が図れます。

従って撤去費用等を考慮すると改修コストの低減が図れます。

リカバード工法は、
環境にやさしい工法



リカバード

特長

- ・ 表層はグラスファイバー不織布仕上です。
- ・ グラスファイバー2層をアスファルトコンパウンドで挟み込んだ物です。
- ・ ベースは高軟化点アスファルトです。
- ・ 下地との融合性が優れた構成材です。
- ・ 層間の接着に機械的接着の必要がありません。
- ・ 耐荷重性に優れています。
- ・ 改修費用の削減が可能です。

利点

- ・ 寸法安定性に優れています。
- ・ 腐食しません。
- ・ アスファルト防水・改質アスファルト防水・塗膜防水に適合します。
- ・ アスファルトおよびアスファルト系接着剤・樹脂モルタルまたは、機械的固定が可能です。
- ・ 砂利蒔き工法は一貫して施工できます。



防水層の貼りつけ



改質アスファルト系接着



トーチ工法

リカバー・ボードの構成

高軟化点
アスファルト

3 MM (1/8") OR 6 MM (1/4") THICKNESS

表層
グラスファイバー
不織布
裏面

リカバーボードの適用下地

RC・SRC・PC板・ALC板・モルタル・鉄板・木・コンパネ・スレート等に接着できます。

リカバーボードの接着および固定方法

アスファルト・ベストコーティング・ウェットメントおよび機械的固定で固定できます。

リカバード

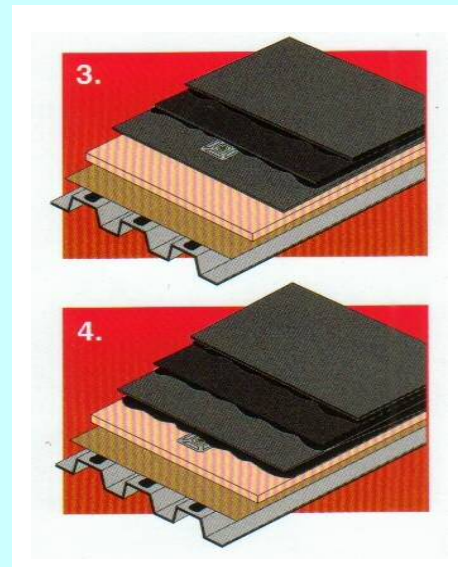
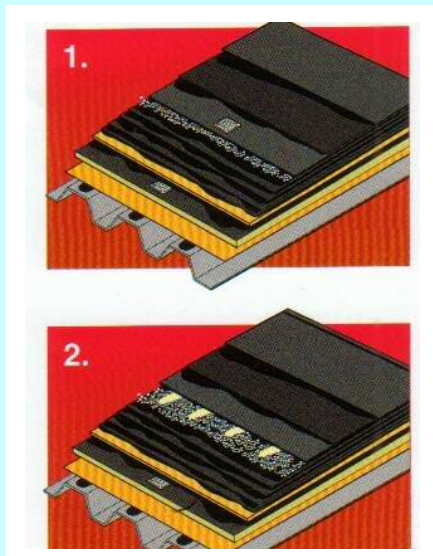
下地への接着(固定)方法

○アスファルト防水の上に接着

リカバードは改質アスファルト防水またはアスファルト防水の安定した表層に用います。

ルーズな砂利等は撤去して、また、フクレ部や断熱材の脆弱部分は除去して補修します。

- ① リカバードをアスファルト防水の上に機械的に固定します。
- ② リカバードを既存アスファルト防水の上に、アスファルトまたはアスファルト系接着剤で接着します。



○断熱材の上への接着

リカバードは湿気抵抗に優れ寸法的に安定しており、アスファルト防水および改質アスファルト防水の下地材として使用します。

- ① リカバードを断熱材の上に直接機械的に固定し、アスファルト防水、トーチ工法または塗膜防水の下地材とします。
- ② 断熱材を機械的に固定した上に、リカバードをアスファルトまたはアスファルト系接着剤で固定します。

* トーチ工法の2層工法を推奨致します。1層工法の役目を果たしますが、安全性には若干劣ります。



リカバード

物性値

項目	物性値	備考
厚さ	3mm	
サイズ	W1.06×L1.22	
重量	4.0kg/枚	
吸水率	0.14%	CAN/CSA-A247-M
引張強度 長手方向 幅方向	7.21Mpa (1,046psi) 4.7Mpa (822psi)	CAN/CSA-A247-M
線膨張係数	0.13% @100%R.H	CAN/CSA-A247-M
密度	1,748/m ³ (91lb/ft ³)	
圧縮強度	10.34Mpa (1,500psi)	10%変形



髷東京興業貿易商会

<http://www.tkbs.co.jp>

東京支店 〒105-0003 東京都港区西新橋 3-13-3

TEL 03-3436-2581 / FAX 03-3436-4742

大阪支店 〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀 1-3-13

TEL 06-6532-5745 / FAX 06-6538-7176

名古屋支店 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 2-4-1

TEL 052-201-3321 / FAX 052-211-5939

広島支店 〒730-0043 広島県広島市中区富士見町 16-17

TEL 082-241-5530 / FAX 082-246-7569

福岡支店 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 1-14-25

TEL 092-431-5072 / FAX 092-481-1064

札幌支店 〒003-0821 北海道札幌市白石区菊水元町一条 1-9-19

TEL 011-875-8881 / FAX 011-875-9855

仙台支店 〒984-0031 宮城県仙台市若林区六丁目左近堀 5-11

TEL 022-287-8190 / FAX 022-287-7141

富山営業所 〒930-0008 富山県富山市神通本町 2-3-12

TEL 076-441-4701 / FAX 076-442-5715

